

倉田議員

勝山市における商工行政  
(工業振興) について

問 勝山市では企業誘致アドバイザーを委嘱し、企業誘致に努めているが実績が十分でない。

市内には発展が期待できる中小企業も少なからずあることから、企業誘致アドバイザーを既存企業への支援アドバイザー(複数人委嘱)にするとともに、これらの企業に対し、国、県の制度を活用しながら、市独自の思い切った支援施策を実施し、雇用促進に努力すべき。見解を伺う。

農業・農村振興ビジョン  
(仮称) 策定について

問 ①市街地内に現在約130haの農地がある。用途指定が行われた当時は、都市化が一段と進むことが期待され市街地周辺の農地の流動化を望み指定された。

答 当面は機械工学等の専門知識や助成制度の仕組みなどの情報分野への支援と、県内の産学官と連絡強化を図り、技術指導、事業選択や事業計画書等の記載指導といった指導分野での支援を行っていきたい。

その他の質問  
・事務分掌について  
・環境ビジネスの活用について

思われる。しかし今日、市街地は縮小しても拡大することはないことから、市街地内の農地の位置づけを明記すべき。

②市街地内の農地について地主の意向を聞き、10年以上農地として耕作が約束される土地については、農振地域と同様の支援、助成が受けられるようにすべき。

答 ①都市計画マスタープランとの整合を図りつつ検討していく。②国や県の補助制度のハードルは高くなっているが、市単独事業では全てのエリアの農地を対象としており、必要に応じて改正するなど対応していく。



世代を超えた奉仕作業

門議員

農地・空き地を活用した  
除排雪場所の確保

問 雪が多かった昨年の除雪の課題は、雪捨て場が近くにないため、市指定の場所まで運搬しなければならず、多大な経費と労力が必要であったことである。

そこで、市内に点在する農地や空き地を、防災協力農地あるいは空き地として登録して必要な時に借り上げ、除排雪場所あるいは雪押し場として利用できないか。

答 雪対策としての農地や空き地の利用は、以前から市民のご理解とご協力をお願いする中で利用させていただき、入れた雪の処理や区民による掃除等、市民と一緒に取り組むことにより、安全で安心な市民生活の確保に努めている。提案の防災協力農地登録制度については、今後の研究課題とさせていただきます。

勝山市森林整備計画と  
路網整備計画について

問 勝山市森林整備計画の中の路網計画に関する部分を、来る7月20日までに林業専用道路の線形や延長、利用区域の設定を行い、選定

その他の質問  
・学校教育の中で公共交通の利用マナー向上への取り組みについて

指標による優先順位をつけた10年間の計画案として策定しなければならぬと聞いている。現在の取組状況と今後の方針について伺う。

答 現在、県、市及び九頭竜森林組合等と共同で、既設の林道、作業道等を図面に整理する作業を行っている。今後、6月末を目途に九頭竜森林組合等と協議し、搬出間伐が必要な箇所を選定を行い、7月20日頃までに10年間の路網計画案を作成する予定。

その後、県全体で取りまとめと調整が行われ、12月末に県が見直し予定の地域森林計画に記載し、3月末には、勝山市森林整備計画の見直しに反映することになる。

